

【保育士向けメッセージ】

一人ひとりの個性や違いを 大切にしましょう。

性別で色や遊び（遊具）を決めたり、男（女）の子だから こうあらねばならないといった固定概念を植え付けるような言葉かけをしていませんか？

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

条件をつけたり、おどすような 言葉かけになっていませんか。

怖い言い方やおどすような言い方ではなく、子どもが自分で気づいて行動できるような言葉かけをしましょう。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

だまって お世話していませんか？

黙って接すると、子どもは何をされるのか不安になります。
「おむつ替えようね」「鼻水拭こうね」など言葉をそえましょう。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

「ダメ」ではなく 「レッツ」で誘いましょう。

「～しないで」より
「してほしいな」「しようね」で伝えてみましょう。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

ひとり遊びも 大切な時間 遊ぶ様子をよく見ましょう。

何に興味をもっているのか
何を学ぼうとしているのか
よく見て、関わりが必要な時に適切な関わりをしましょう。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

子どものプライバシーを 守ってあげましょう。

子どもの排泄の失敗を大きな声で知らせたり、どこでも構わず着替えをさせていませんか？
人目のつかないところで、子どもにひと声かけてからにしましょう。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

子どもに 必要以上に 大きな声で話していませんか？

大きな声で話していると、子どもたちも大きな声になってしまいます。大きな声は騒音です。落ち着いた声で話す方が子どもに伝わります。声のボリュームを見直してみませんか。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

余裕のなさから 「待ってね」「あとでね」で その場を終わらせていませんか？

受けとめてもらえた満足感の積み重ねが人の話を聴く力や自己肯定感につながります。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会